

日本大百科全書

ENCYCLOPEDIA
NIPPONICA
2001
21
へき—ます

小学館



日本大百科全書 21

©SHOGAKUKAN 1988
1988年5月1日 初版第一刷発行
定価 7,800円

編集著作 相賀 徹夫
出版者

発行所 小学館

郵便番号 101-01

東京都千代田区一ツ橋2-3-1

振替 東京8-200番

電話 編集・東京03-230-5620

業務・東京03-230-5333

販売・東京03-230-5739

印刷所 凸版印刷株式会社

本文 (特抄百科用紙) 王子製紙株式会社

口絵 (特抄アート紙) 三菱製紙株式会社

表紙 (特製クロス) ダイニック株式会社

製本 凸版印刷株式会社
若林製本株式会社

- *本書に掲載した日本関係地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図、5万分の1地形図、20万分の1地勢図、2万5千分の1土地利用図および『日本国勢地図帳』を使用したものです。
- *造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします。
- *本書の内容の一部または全部を、無断で複写複製(コピー)することは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利の侵害となりますので、その場合はあらかじめ小社あて許諾を求めてください。

Printed in Japan

ISBN4-09-526021-1



東山魁夷『宵桜』部分



東山魁夷画『宵桜』
1982年（昭和57）65.0×92.0cm

松山の峰を出る満月。
あでやかに咲き匂う枝垂れ桜
両者の巡り合う一瞬に、
この世のいのちの充足を見る。
（東山魁夷・文）

私の南極物語

何年か前に『南極物語』という映画が、大当たりをとったことがあった。この主役であるカラフト犬「タロー」「ジロー」の物語絵本も、少年少女の間ではたいへんな人気であった。私にとっては懐かしいとともに、いまでも胸の痛む思い出の話である。あの当時、私たちの南極基地建設計画も、ヒマラヤ諸高峰の登頂計画や北極点単独踏破計画などと、その基本姿勢においては大差ないと思っている人が多かった。現在でもなお、そう思っている人々が少なくないようである。

いま、『日本大百科全書』の「南極」の項目をひいてみるならば、最近の南極大陸情勢の概要が、付図とともに九ページにわたって記述されている。そこには日本隊の「昭和基地」「みずほ基地」はもちろんのこと、もつとも新しい「あすか観測拠点」があり、それに新加入の中国の「長城基地」をも含めて、南極大陸にある各国隊合計三八の恒久基地の配置図が示されている。また、この全書の「南極条約」の項目には、南極域に関して、(一)絶対非武装、非軍事行動、(二)平和目的限定による各国隊の科学的開発協力、そして(三)非核、ならびに非核廃棄物という、南極条約の基本三原則がまとめられている。一九五七年以来、政治的には理想に近いと考えられる、このような国際協力の平和体制のもとで、南極大陸とその周辺海域の科学的解明と開発とが、今日まで営々と続けられてきた。

カラフト犬を置きざりにして、日本隊が涙を飲みつつ昭和基地を撤退したのは、一九五八年のことであった。翌年、昭和基地に復帰した私たちを出迎えてくれたのが、生き残ったタローとジローとであった。あの頃は、五〇トの物資を昭和基地に陸揚げする作業に、私たちは死闘と言えるほどの苦勞をした覚えがある。

この一九八七年十一月、南極観測艦「しらせ」は一〇〇〇ト近い量の器材、物資を積んで東京港を出航した。すでに、あすか拠点、昭和基地への荷上げ作業を予定どおりすませ、新しい隊の若手科学者隊員たちは、それぞれの新しい研究計画の現地展開に大はりきりの様子である。南極大陸の厳しい自然環境は、いまでも相変わらずそのままである。そこには、自然と人類活動の対決がつねに存在している。人間の知恵と努力の積み重ねによって、自然環境による困難を少しずつ克服しながら、大自然の懐のなかによくやく近づいたという状態である。南極域がようやく現代人類世界の一部になりつつあるという実感が湧いてきた。

かつて「未踏の白大陸」と呼ばれたこの地域には、地球上の人類が解決せねばならぬ問題がまだいくつも残っている。重要課題に自分の手で直接取り組むことができる若手研究者が勇みたつのは、むしろ当然であろう。昭和基地は、いま立派な研究所に成長し、米国やソ連の南極基地群も、充実した研究組織にまで発展している。

ところで、私の生きているうちにぜひ実現してほしい願いがあ。あの昭和基地内の図書室をさらにもつと充実して、少々の文献検索には困らない程度までに高めてほしい。これは最初からの私の夢と希望であった。

永田武

(永田武)

装 丁

亀倉雄策

本扉／書

青山杉雨（連作書体のうち、明時代、董其昌書法による行草書）

巻頭口絵

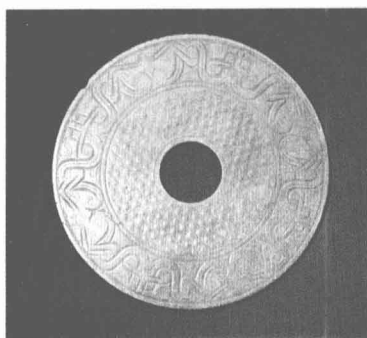
東山魁夷

本文五十音題字

木元壽美江

へき

へきが



壁 穀物の粒のような小さな突起文のある
穀壁。西周時代(B.C.11世紀~B.C.771)
台北 国立故宮博物院

壁 へき 中国の玉器の一種で、扁平環状で中央に小さな孔があいているものをさす。仰韶文化期の環状石斧に原形が求められるが、玉製としては竜山文化期に出現する。孔の大きいものを環といい、さらに孔の大きい肉細の腕輪のようなものを環という。穀壁、蒲壁というのは壁に刻まれた文様にその名称が由来すると考えられている。駟壁は壁の外周に切り込みを入れたもので、疏壁は透彫りのある壁のことである。また楯円形(だんえんぎょう)のものを義壁(ぎへき)という。『周礼』玉人の注に、諸侯が来朝してきた際に天子に献上したのが壁であるとするが、これらの壁が古代中国で具体的にどう使用されたのか、なお明らかでない。

日置(町) へき(ちょう) 山口県北西部、津和野の町。一九七八年(昭和五三)町制施行。日本海に臨み、大津平野の東部を占める農村地帯。山陰本線と国道一九一号が東西に走る。『倭名抄』の日置郷、中世の日置庄(三条家)の地。北長門沿岸第一の米どころで、古市は大津平野の宿駅、市場町として発達した。海岸一帯は北長門海岸国定公園の一部で、二位ノ浜のハマモトは自生北限地。深川湾岸に黄波戸温泉がある。人口五一三四。

日置町史 (一九三三・日置町)
地二万五千分の地形図「仙崎」「長門湯本」「長門古市」「倭山」



ペギー

津和野の宿駅、市場町として発達した。海岸一帯は北長門海岸国定公園の一部で、二位ノ浜のハマモトは自生北限地。深川湾岸に黄波戸温泉がある。人口五一三四。

日置町史 (一九三三・日置町)
地二万五千分の地形図「仙崎」「長門湯本」「長門古市」「倭山」

へき へき 穀壁、蒲壁

ペギー Charles Peguy (一八九三—一九一八) フランスの詩人、劇作家、思想家。オルレアンに生まれる。生後数か月で指物師の父を失い、椅子直し職人の母と祖母に育てられる。彼はこの幼年時代を懐かしみ、終生民衆の子を自負した。パリに出て高等師範学校に入学、まもなく先輩ジョレスの影響で社会主義活動に専念。ドレフュス事件では、正義と真実を求める再審派として熱烈に戦うが、のちに『われらの青春』(一九〇〇)で『すべてはミスティックに始まりポリテックに終わる』と慨嘆するようになり、同志の政治的妥協に幻滅し、あくまでミスティックを貫く真実で自由な発言の場を確立するために、一九〇〇年『半月手帖』(Cahiers de la Quinzaine)誌を創刊。同誌は幾多の危機を克服してペギーの戦死まで刊行された。彼はこれを自作の発表機関とすると同時に、ロマン・ロラン、シュアレス、タロー兄弟らに作品公表の場として提供し、二〇世紀初頭のフランス文学に大きな貢献を果たした。

彼はベルクソンの講義を聴講して反知性主義、生への信仰などの思想的影響を受け、ソルボンヌ大学教授たちの固陋な実証主義を厳しく批判した。またドイツの脅威を警告して好戦的な愛国心を鼓吹し、旧友ジョレスらの平和主義と対立、さらに近代社会の唯物論的傾向を告発し、民衆の連帯と共和主義を主唱した。一九〇八年ころカトリックに回心、一〇年ころから神秘主義的詩人となる。処女作『ジャンヌ・ダルク』(一九〇七)を深化した自由詩形の『ジャンヌ・ダルクの愛徳の神秘劇』(一九〇〇)とそれに続く神秘劇には、精神性(永遠)が肉身性(現世性)に挿入される託身の秘義が歌われている。定型詩『聖母の綴り』(一九〇三)には有名な「シャルトルの聖母にボース地方を捧げる詩」が含まれている。彼の白鳥の歌『エバ』(一九〇三)は四行詩、七六〇〇余行の壮大な叙事詩で、人間の悲愴と偉大、その救済を扱う。彼の詩は反復が多く、中世の連禱に通うものがある。第一次世界大戦勃発直後マルヌの戦いで戦死した。

田子千代
回平野威馬雄訳『半月手帖』(一九三三・昭和森社)
▽磯見辰典訳『われらの青春』(一九二七・中央出版社)▽山崎庸一郎訳『歴史との対話』(クリオ) (一九二七・中央出版社)

ベギエ・ド・シャンクルトア Alexandre Émile Béguyer de Chancourt (一八八〇—一九六八) フランスの地質学者。理工科大学校、鉱山学校卒業後、後者の母校の講師となった。そこでエリー・ド・ボモンと知り合い、影響を受け、元素の分類表(周期表)の着想を得、一八六二年に『大地の螺旋』と題して発表した。この周期表では、水素を一として、左上から縦に元素が螺旋状に並べられ、原子量(性質番号とよばれている)が一六増すことに、縦の同列に戻ってくる仕組みになっている。しかし、元素だけでなく、いくつかの基(ラジカル)も含められ、原子量にはすべて整数が使われている。不完全な周期表といえるもので、メンデレーエフほかの先駆者となった。(吉田 晃)

壁画 へきが wall painting ペイント peinture murale Wandmalerei 建造物の壁面や天井に顔料で直接描いた絵画、あるいは予定した建築壁面のために描き、完成後そこに組み込まれたカンバス画や板絵をいう。主として建築や墳墓の装飾として発展したが、ラスコーやアルタミラの旧石器時代の洞窟壁画や、タッシリ・ナジェールの岩壁画のような天然の岩面に描かれた絵、またモザイクやタイルなどによる壁面装飾も広義には壁画の一種といえることができるであろう。作品の規模や質は異なるとしても、絵画のもともとも古い形として、ほとんどの地域と時代にわたって作例がみられる。

壁画はその目的および造形・技術面でも、それが描かれる建造物と密接な関係がある。古代には王宮や神殿、墓室の壁面を飾るモニュメンタルな作例が多い。古代エジプトでは玄室の壁面に優品が多数あり、メソポタミアでもテル・ハリリ遺跡のマリの宮殿などで発掘されている。エーゲ海地方では、クレタ島のクノッソス宮殿とサントリーニ島(ティラ島)のアクロティイ遺跡で発掘されたものが名高い。歴史時代の古代ギリシアの壁画は現存しないが、パウサニアなどの文献によって、ギリシア建築も壁画で飾られていたことがわかる。アテネのアゴラにあったストア・ポイキレはポリュグノトス、ミコン、パナイノスの三大画家によるフレスコで美しく装飾されていたという。ローマ時代以前の古代イタリアでは、タルクィニアなどのエトルリアの都市で、壁画のある地下墓室が数多く発見されている。古代ギリシア絵画の反映を伝えるローマ時代の作例は、ベスビオ火山の噴火で埋没した二つの都市、ヘルクラナムとポンペイから発掘されている。

初期キリスト教時代にはカタコンベに壁画が描かれ、中世においてもライヒエナウ修道院やサン・サパンの聖堂などにみられるように壁画制作は続いた。しかし、ビザンティンの聖堂ではむしろモザイクが盛んとなり、一般に中世には耐久性の乏しいセッコ技法で描かれたこともあって、保存のよい壁画は少ない。西洋絵画史上、壁画がもっとも重要な位置を占めた時代は、ジョットを先駆者とし、マサッチョ、ピエロ・デッラ・フランチェスカ、マンテーニャらを経てミケランジェロに至る「真のフレスコ」技法が隆盛したイタリア・ルネサンスである。ついでティントレットやベロネーゼに代表されるベネチア派の後期の画家たちは、壁に直接描くのではなく、油彩でカンバスの大画面に描く方法を採用するようになる。バロック時代のイリュージョニズムの天井画を最後に、西洋での壁画は衰退する。↓フレスコ

東洋の壁画は、仏教遺跡と墳墓の墓室にみられる。墓室壁画の古い例は中国前漢時代にまでさかのぼる。アジャンタやバーミーンの石窟、敦煌の千仏洞などは壁画で著名な仏教遺跡である。日本では高松塚古墳の墓室壁画、法隆寺金堂の壁画、平等院鳳凰堂の扉絵などが代表的作例である。わが国では建築構造や美意識の違いから、建築壁面に固定された壁画は発展せず、それにかわるものとして、襖や屏風に描いた障屏画がある。↓障屏画

壁画と建築の関係には実にさまざまな問題が

①



壁画

①古代の壁画 サントリン島出土の「春のフレスコ」 B.C.16世紀後半 アテネ国立考古博物館 1967年から始められたエーゲ海のサントリン島(ティラ島)の発掘で、B.C.15世紀の大噴火で埋没した多くの家から壁画が発見された。質の高さとともに、保存状態のよいことで古代絵画史の貴重な資料である

②ルネサンスの壁画 ビエロ・デッラ・フランチェスカ「聖十字架物語」 1452～66年 アレッツォのサン・フランチェスコ聖堂内陣祭室の三方壁面を飾るフレスコは、ビエロの傑作であるとともに、15世紀イタリア・ルネサンス絵画を代表するもの。壁面は慣例に従って分割され、そこに各場面を上から下へと描いていった。人物の陰影は実際の窓から差し込む光に従っている

②



③現代の壁画 ディエゴ・リベラ「メキシコの歴史：アステカ文化」 1930年 メキシコ・シティ 中央政庁 民衆に訴える芸術手段としてリベラは壁画を選び、イタリアの画家たちに範を求め、フレスコを復活させた。メキシコの歴史を公共施設などの壁面に多く描き、その平明でダイナミックな表現は国民画家の名にふさわしい

③



含まれ、壁画の絵画空間と建築自体の空間との関係に焦点を絞れば、およそ次のようないくつかの類型があげられる。

単純に平面的な装飾画として壁面自体の平面性と一体化した壁画は、建築の空間構成を強調し明瞭にする。開かれた窓あるいは扉のような効果を壁画で表現する方法はポンペイに例があるが、この方法を推し進めると、周囲の壁面をくまなく自然の景物で覆い尽くすことで建築を否定し、建築空間を変質させるような壁画も生まれる(サントリン島の壁画や古代ローマのピラの壁画など)。石窟の仏教壁画や中世のキリスト教聖堂壁画は、見る者の立つ空間に働きかける絵画であり、ルネサンスの壁画は、想像力の世界を開く象徴的な窓である。そしてポンペイの開かれた扉の方法を、垂直方向の誇張した遠近法に変形させれば、パロククのイリュージョニズムの天井画となる。

〈長谷川三郎〉

劈開 へきかい 固体結晶物質

において、その原子配列と直接関係するとして説明される、特定方向に沿って割れやすい性質。これを記載するには、その方向については、結晶面と同様の表現形式で、発達の度合いについては、完全、明瞭、良好、不完全などの表現を用いる。また、存在しない場合は、単に欠如として示す。ごく少数の例外を除き、劈開面はつねに結晶面としてよく発達して出現する。また六方晶系の物質において、六回(または三回)対称軸に平行な面が劈開面とならない、という経験則もある。劈開は、一つの結晶物質についてつねに存在する、いわば固定的属性であるが、これに似た性質の裂開は、かならずしも原子配列とは関係しないこともあって、物質の製法や鉱物の産状によってはまったく出現しないこともある。劈開には、石墨や雲母などのように、つねに外観上に現れて

いるものと、ダイヤモンドのように、見ただけでは存在の明らかでない場合とがあり、一般に前者は低硬度の物質、後者は高硬度のものにみられる。↓結晶 ↓鉱物

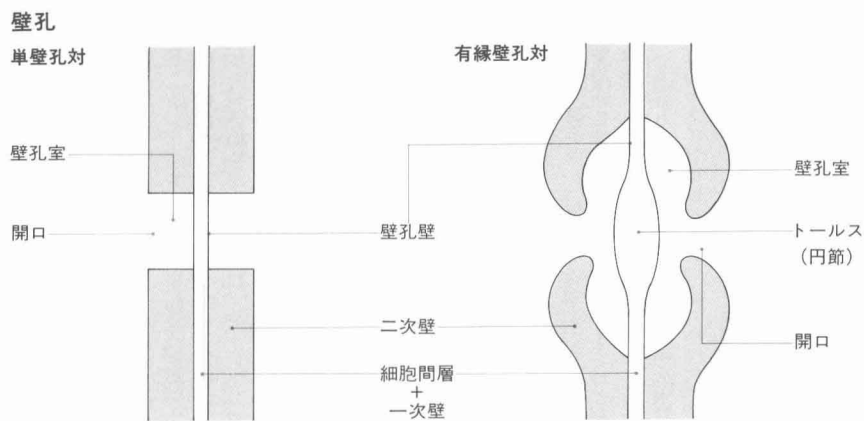
碧霞元君 へきがけんくん 中国における山岳崇拜の中心地である、山東省泰山に祀られた女神。宋の皇帝真宗が泰山で封禅を挙行したおり、山頂の池で手を洗うと池の中から女神の石像が浮かび上がったので、これを碧霞宮、つまり泰山の絶頂に祀ったという。その出自については諸説が伝えられ、泰山の主神である泰山府君の娘、あるいは孫であるとか、黄帝が泰山に派遣した七人の仙女のうちの一人であるなどとされる。また碧霞元君は子授けの靈験あらたかな女神として知られ、子のない婦人は争って泰山に参詣したが、その人氣は主神の泰山府君を凌駕したとされている。

壁面古墳 へきがふん 古墳 装飾古墳

碧巖録 へきがろく 中国、宋代の仏書。○巻。中国禅宗五家の一、雲門宗の雪竇重顕(元一〇一〇)が、趙州・從諗や雲門文偃を中心とする古則公案百則を集めて頌を付した『雪竇頌古』に、臨済宗の圓悟克勤(一〇二五～一三三三)が自在に評釈を加えた書。古くは『碧巖集』という。禅の公案集として第一のもので、成立して以後、数多くの刊行がある。現存のものである、一三〇〇年(大徳四)の張明遠による刊本を最古とするが、付される序文などにより、それ以前の刊行のあったことが知られる。とくに現在、金沢市大乗寺に所蔵される『碧巖破関撃節』(『一夜碧巖』)は、入宋していた永平道元が帰朝に際して、白山権現の助力を得て、一夜にて書写したと伝えられるもので、『碧巖集』の古型を伝えて貴重である。日本でも各時代を通じて提唱本、講義本が多数成立したが、そのなかでも、大智実統の『碧巖集種電鈔』、岐陽方秀の『碧巖録不二鈔』、大空玄虎の『碧巖大空鈔』、万安英種の『碧巖録鈔』などが代表的なものである。↓雪竇重顕

加藤咄堂著『碧巖録大講座』全一五冊(元三・平凡社)▽西谷啓治・柳田聖山編『世界古典文学全集36B 禅家語録Ⅱ』(一九四・筑摩書房)▽朝比奈宗源訳註『碧巖録』全三冊(岩波文庫)▽入矢義高・梶谷宗忍・柳田聖山編『禅の語録15 雪竇頌古』(元二・筑摩書房)▽平田高士著『仏典講座29 碧巖集』(一九三・大蔵出版)

へきすと



へき級数 へききゅうすう **碧玉** へきぎよく Jasper 鉄分を含んだ不純な不規則塊状の石英の一種。めのより不純物が多い。色は赤く赤褐色が典型的であるが、褐、黄褐、灰緑、褐黒色などさまざまである。赤みの強いものは、不純物として赤鉄鉱、褐色みの強いものは、不純物として褐鉄鉱が主として含まれる。斑点状、くもり状、帯状などのタイプがある。割れ口は平滑ないし貝殻状である。火山岩やその変質した部分に、空隙や脈を充填して産したり、層状鉄鉱床中に団塊や脈をなしたりする。また火成岩の貫入に伴う珪化作用によっても生成される。また広大な層として産する場合もある。わが国では新生代新第三紀の火山岩に伴うものが多い。赤玉で有名な新潟県佐渡地方のものは、別名赤ジャスパーといわれるものである。また出雲地方の勾玉などによく使われた島根県松江市玉造温泉のものは

灰緑色の碧玉である。ほかに、石川県小松市、青森県竜飛岬など産地は多い。
ジャスパーの名はペルシア語の *jashna* や *yasna* などによって由来している。古来は緑色系の半透明玉髓などに使われていたらしいが、一六世紀ころから現代の碧玉を含めてよぶようになった。研磨して飾り石とされるが、価格は低い。
碧玉溪 へきぎよくけい 宮城県南部、白石市内を流れる白石川の渓谷。市街地の西方約四キロ北から東へ流路を変えるが、この付近から上流の小原温泉までの約三キロのV字形の峡谷をいう。命名は徳富蘇峰による。約二キロの遊歩道がある。東北新幹線白石蔵王駅からバスの便がある。
壁孔 へきこう 植物の細胞壁にあって、隣り合う細胞どうしの水分などの通路となる壁の薄い部分をいう。以前、細胞壁は細胞膜と呼び習わされていたため、壁孔は膜孔とよばれていた。細胞壁は、細胞どうしを接着している細胞間層に、薄い一次壁と厚い二次壁が堆積してできており、壁孔はこの二次壁が欠如した部分にできる。
壁孔の形、大きさ、配列などはさまざまであるが、大別すると単壁孔と有縁壁孔に分けられる。単壁孔とは細胞内への開口と壁孔壁が同じ大きさのものをいい、柔組織の細胞などに広くみられる。有縁壁孔とは周囲の二次壁がアーチ状に張り出して、壁孔壁より小さい開口になるものをいい、道管や仮道管などの通道要素にみられる。これらの壁孔においては、水分などの通路というその働きから、隣接する細胞どうしの壁孔が対になっているのが普通である。これを単壁孔対などよぶ。なお、とくに有縁壁孔と単壁孔が対をなした場合は半有縁壁孔対、あるいは単に半有縁壁孔とよぶ。
碧江 へきこう ビーチャン 中国、雲南省西端にある怒江リズ族自治州中部の県。怒江の谷に沿う。県政府所在地は知子羅鎮。一九五四年に自治州が成立したのち、一時州政府所在地となったが、現在は下流の瀘水県六庫鎮に移っている。林産・鉱産資源や薬材に富み、農業のほか牧畜も行われる。
へき根 へきこん 果乗根 あいでんこん 青木千枝子
へキサフルオロケイ酸 へきふろおろけいさん ーさん ーフッ

へキサメチレンジアミン hexamethylenediamine 脂肪族アミンの一つ。1・6-ヘキサンジアミン、1・6-ジアミノヘキサンなどともいう。特有のにおいをもった固体。空気中から水や二酸化炭素を吸収する。アジポニトリル $\text{N}(\text{C}_6\text{H}_5)_2\text{CN}$ をナトリウムとエタノール（エチルアルコール）で還元すると得られる。水にはよく溶け、エタノールにも溶ける。アジピン酸 $\text{HOOC}(\text{CH}_2)_4\text{COOH}$ とともにポリアミド合成繊維の6・6-ナイロンの合成原料として重要である。↓ナイロン （務台 潔）
へキサメチレンテトラミン hexamethylenetetramine 複素環脂肪族アミンの一つ。ヘキサミン、メテナミン、ウロトロピン、1・3・5・7-テトラアザアダマンタンその他多数の名称をもつ。ホルムアルデヒドとアンモニアの反応で合成する。無色・無臭の結晶または粉末。水、エタノール（エチルアルコール）、クロロホルムなどに溶ける。ゴムの加硫やフェノール樹脂合成における反応促進剤として使われる。またアンチモン、ビスマス、銀、水銀などの分析試薬、利尿剤や尿路消毒薬としても用いられる。
へキサン hexane アルカンに属する炭素六個の炭化水素の総称。五種の異性体が知られているが、普通、ヘキサンというとき直鎖状のn-ヘキサンをさす。n-ヘキサンは石油エーテルあるいはグロインの主成分である。無色揮

へキサメチレンジアミン hexamethylenediamine 脂肪族アミンの一つ。1・6-ヘキサンジアミン、1・6-ジアミノヘキサンなどともいう。特有のにおいをもった固体。空気中から水や二酸化炭素を吸収する。アジポニトリル $\text{N}(\text{C}_6\text{H}_5)_2\text{CN}$ をナトリウムとエタノール（エチルアルコール）で還元すると得られる。水にはよく溶け、エタノールにも溶ける。アジピン酸 $\text{HOOC}(\text{CH}_2)_4\text{COOH}$ とともにポリアミド合成繊維の6・6-ナイロンの合成原料として重要である。↓ナイロン （務台 潔）
へキサメチレンテトラミン hexamethylenetetramine 複素環脂肪族アミンの一つ。ヘキサミン、メテナミン、ウロトロピン、1・3・5・7-テトラアザアダマンタンその他多数の名称をもつ。ホルムアルデヒドとアンモニアの反応で合成する。無色・無臭の結晶または粉末。水、エタノール（エチルアルコール）、クロロホルムなどに溶ける。ゴムの加硫やフェノール樹脂合成における反応促進剤として使われる。またアンチモン、ビスマス、銀、水銀などの分析試薬、利尿剤や尿路消毒薬としても用いられる。
へキサン hexane アルカンに属する炭素六個の炭化水素の総称。五種の異性体が知られているが、普通、ヘキサンというとき直鎖状のn-ヘキサンをさす。n-ヘキサンは石油エーテルあるいはグロインの主成分である。無色揮

染料会社として初めて医薬部門に進出した。二〇世紀に入り、カレ Kalle、カッセラ Cassella を傘下に収め、一九二五年のイー・ゲー・ファルベンの結成に参加。第二次世界大戦後の財閥解体後、五一年社長ウィンナッカー Karl Winacker (1861-) のもとで再建を図る。六〇年代に同国化学会社のなかでトップにたち、積極的な世界戦略で七五年には一時、アメリカのデュポンを抜いて世界最大の化学会社となった。八七年七月にはアメリカ・ヘキストを通じてアメリカ第二位の合成繊維メーカー、セラニース社を二八億ドルで買収した。八六年のグルーブ売上高は三八〇億ドル。そのおもな構成は医薬品一六％、プラスチック・ワックス八％、繊維一〇％、塗料一〇％などである。国内での販売比率は二八％で、製品の多くはアジアを含め諸外国に輸出されている。

ヘキスト・ワッカー法 ― ほう Höchst-Wacker process エチレンを塩化パラジウム触媒を用いて直接酸化し、アセトアルデヒドを得る方法。単にワッカー法とよばれることも多い。一九五九～六〇年に西ドイツのヘキスト社およびワッカー社で開発され、世界的に広く採用されるに至った。プロセスは、エチレンと空気または酸素を触媒液中で $100\sim 110^{\circ}\text{C}$ で反応させ、反応系で還元されたパラジウムは共存する塩化銅(II)によって塩化パラジウムに戻し、生じた塩化銅(II)を酸化して塩化銅(II)に戻す仕組みである。同様の触媒系でプロピレンを酸化して一段でアセトンを得る方法、およびリン酸トリエチルを触媒とする酢酸の熱分解によって得られるケテンを酢酸に吸収させ、無水酢酸を得る方法がいずれもワッカー法とよばれる。↓アセトアルデヒド ↓アセトン 《松田治和》

壁装材 ― へきそうざい 壁面に使われる装飾的仕上げ材料の総称。その大部分は壁紙で、また歴史も古いため、従来は壁紙と同じ意味に用いられていたが、最近インテリアへの関心の高まりとともに、壁紙のほかにタイル、レンガ、石、プラスチック、木質材料、金属板、ガラス加工品など多様なものが使われるようになったため、より広義な用語として壁装材が使われるようになった。インテリアの仕上げ効果を左右するエレメントとして、家具、テキスタイル、照明器具、窓周りに品ともっとも重要な役割を担っている。壁面の仕上のよしあしは下地材によって左右されるところが大きい。

で、それぞれの仕上げ材料にあった下地づくりをすることがたいせつである。とくに防火壁装については、建築基準法によって内装制限が設けられているので、それに適合するように施工しなければならない。

なお壁紙について付記すれば、現在日本でもっとも多く使われているのはビニル系のもので、普通にクロスとよんでいるのはそれである。ビニル系の壁紙はさまざまなテクスチャの表現が容易で、豪華にみえ、しかも安価であるため急速に普及した。透湿性がないため調湿効果に欠けるが、最近では透湿能力をもつものも市販されるようになってきた。ヨーロッパでは歴史的に紙や布の壁紙を使ってきた。ヨーロッパでは現在でもその使用の比率が高く、高級な製品も多い。↓壁紙 《小原二郎》

ヘキソゲン Hexogen トリメチレントリニトロミンの慣用名。RDX、シクロナイトなどの別名でもよばれる。分子式 $\text{C}_3\text{H}_5\text{N}_6\text{O}_9$ 、分子量二二二。第二次世界大戦中に大量に用いられるようになった高性能軍用爆薬。外国では単独で雷管の添装薬として使われている。シクロトリルやコンボジションBのようなTNTとの二成分混合爆薬の成分として炸薬にもっとも多く使われている。爆速は比重 1.767 で毎秒八六四〇m、爆発熱は 1 gグラム当りおよそ五九〇〇kJジュールで、現存する高性能爆薬の一つである。↓火薬 ↓爆薬 《吉田忠雄》

ヘキソサミン hexosamine ヘキソス由来のアミノ糖で、ヘキソスの水酸基がアミノ基で置換された化合物の総称。天然のおもなものはグルコサミンとガラクトサミンで、いずれも2位にアミノ基がついたものである。示性式は CH_2OHNH_2 で表される。これらはN-アセチルまたは硫酸化誘導体として多糖の構成成分となっているものが多い。ムコ多糖、糖タンパク質、糖脂質の中に広く存在する。ほかに、分布のまれなヘキソサミンが細菌の細胞壁や抗生物質で知られる。2-アミノ糖のマンノサミン、フコサミン、3-アミノ糖のミコサミン、6-アミノ糖のカノサミンなどである。性質は還元性があり、アミノ基のために塩基性で、酸と結晶性の塩をつくる。《池田加代子》

ヘキソース hexose 炭素原子六個をもつ単糖の総称。分子式は $\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6$ で示され、六炭糖ともいう。自然界にもっとも広く、かつ大量に分布する糖で、糖の親物質ともいえるグル

コースをはじめ、ガラクトース、マンノース、フルクトースなどがある。アルデヒド基をもつアルドヘキソースとケトン基をもつクトヘキソースがあり、前者にはグルコースなど八個、後者にはフルクトースなど四個の立体異性体がある。さらに、それぞれD型とL型があるが、天然には通常D型が存在する。強酸と加熱するとフルフラールを形成し、これは各種フェノールと反応して着色物質をつくるので、検出や定量に用いられる。ヘキソースは、天然には遊離状態よりも多糖や少糖などの結合状態で分布することが多い。生物が炭素源やエネルギー源としてもっともよく利用する物質で、多糖体のものは単糖に分解して代謝される。《池田加代子》

僻地 ― へきち 山村や離島にみられるへんびな土地の集落をいう。その多くは、自然条件や経済条件に恵まれず、社会的な孤立や貧困の問題を抱え、生活水準は著しく低位で、近代文明の恩恵を受けることが少なく、医療、教育環境も悪化している。現在は離島振興法(昭和四十八年法律七二号)、山村振興法(昭和四〇年法律六四号)、へき地教育振興法(昭和四十九年法律一四三号)など特別な行政措置を受けているが、このような遅れた状況を静態的に規定しているのが僻地ないし辺地である。

これに対し、人口激減に伴って社会生活を営むことが困難となった地域が過疎地域であり、それは動態的に規定したものである。過疎化が進むにつれて活力を失い、辺地と同じ問題を抱えるようになった地域もある。過疎地域の辺地化がそれである。過疎地域は離島、山村、辺地、豪雪地帯など、地域特性は多様である。第二次世界大戦後、地域格差の是正を目ざして、僻地対策のために特別措置がとられるようになった。

↓過疎問題 ↓離島 ↓僻地教育 《伊藤善市》

僻地教育 ― へきちきょういく 一般的には、文化の中心である都市から遠く離れた辺境の土地を僻地といい、僻地教育はそこでの教育ということになるが、教育においては僻地教育を論じる場合には、「へき地教育振興法」(昭和四十九年法律一四三号)に基づく「へき地における教育」および「へき地学校」の教育をいう。↓僻地

同法では「へき地学校」を「交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、離島その他の地域に所在する公立の小学校及び中学校」(二条)と規定し、都道府県条例の定める「へき地学校」ならびに「これに準ず

る学校」を振興し、それによって僻地における教育水準の向上を企図している。「へき地学校」には僻地性の度合いを示す基準点数と付加点数の合計により、低いものから準、一級、二級、三級、四級、五級の級別があり、小・中学校の約二〇％は「へき地学校」である。その数は年々減少しているが、このことは僻地がなくなり、「へき地学校」の教育問題が解消しつつあることを意味しない。「へき地学校」と指定されていなくとも、また基準点数、付加点数の合計が減って、「へき地学校」から外れても、僻地性の強い地域社会を基盤にもつ学校は存在している。僻地社会の特性としては、僻速性、文化的沈滞性、経済的貧困性、社会的封鎖性、教育的低調性などがあげられている。

【僻地教育の課題】僻地の多くの学校が、①自ら進んで物事に取り組んでいく自主的、積極的、創造的な態度、②どこまでも見極め、筋道をたてて思考し、理解し、納得するといった合理的、批判的な思考力や態度、③進んで発表でき、すなおに自分の考えを表現できるといような豊かな表現力、④話し合い、理解し合い、他人の意見も謙虚に取り入れるなどの寛容で協力的な明るい人間関係、⑤健康教育の推進など、を教育目標としてあげている。

これらの教育目標は、僻地の状況や児童・生徒の実態を見つめ、子供の将来の幸福や地域の発展を願う気持ちから生まれたもので、すなわち、僻地の教育課題にこたえるものであるにもかかわらず、そのまま僻地を越えて現代教育の特質に対応する教育目標でもあることはきわめて重要である。僻地学校については、施設・設備の充実、教員人事の適正化、教員の勤務改善、研修条件の確立、複式学級の解消、指導方法の開発などがつねに問題となるが、地域の教育課題への主体的取り組みなしには、僻地学校、僻地への教育は成功を期待できない。《岩下新太郎》

重松俊明編著『変動期の社会と教育』(二〇一三・黎明書房)

ヘキチウ pale-headed mannikin ①Loriculus maia 鳥綱スズメ目カエデ科ウ科の鳥。同科キンバラ属三四種中の一。全長約一七cm。キンバラ属特有の栗色を基調とし、キンバラに酷似するが、頭頸部の白色が異なる。マレー半島、スマトラ島、ジャバ島、バリ島に分布するが、性質が温和で好事家に愛され古くから輸入されている。草本の種

子、穀物を好むが、昆虫などもとる。ジャワ島にムナグロヘキチョウとよばれるものがあるが同種であり、オーストラリアのキバラヘキチョウは別種である。ヘキチョウの日本への輸出は江戸時代からといわれる。

碧蹄館の戦い へきていかんたたかい 文禄の役(豊臣秀吉の第一次朝鮮侵略)の一戦闘。一五九三年(文禄二)一月、朝鮮漢城(ソウル)北方の碧蹄館で、漢城を占領した日本軍と、これを奪回せんとする明軍が激戦し、明軍は敗れて平壤に退いた。↓文禄・慶長の役

碧南市 へきなん 愛知県中南部にある市。一九四八年(昭和二三)大浜、新川、棚尾の三町と旭村が合併して碧南市として市制施行。矢作川河口に位置し、衣浦臨海工業地域を形成している。名古屋鉄道三河線が通じ、半田市との間は衣浦海底トンネルで結ばれている。大浜港は室町時代から発展してきた港町で西三河地方の海の玄関口、沼津藩陣屋も置かれ、江戸時代は三河五箇所湊の一つで江戸廻船の基地、矢作川舟運の結節点として栄えた。また、大浜塩の産地であり、後背地で生産された酒、みりん、瓦などの江戸表への搬出港としても知られた。五七年には衣浦湾沿岸七港とともに重要港湾に指定され、臨海工業地域が造成されその中核港湾となった。新川の三州瓦、棚尾の鋳物、大浜のみりんの特産があり、矢作川沿いの前浜新田、碧南干拓地ではニンジン栽培が盛んである。蟹塚は一八七一年(明治四)、神仏分離政策に反対して起こった大浜騒動の舞台となった。人口六万三千七十八。

ベキーズ Pekinges 哺乳綱食肉目イヌ科の動物。家畜イヌの一品種。中国原産の愛玩犬で、四肢が短く、やや長胴の感じがあり、大きな頭部をしていて、全身が豊富な美しい長毛に覆われている。小形犬ではあるが、どっしりした重厚みがあり、アジアに伝わる獅子舞の獅子を思わせる。鼻は短く、頭蓋は幅広く大きく、目と目の間隔も広い。目は丸くて大きく突出している。口吻は短く、受け口。四肢は太くてやや湾曲する。尾は高く位置し、長い飾り毛をもつ。飾り毛は頸の周り、肢などにもみられる。毛色は赤、褐色、黒、白、セーブル、ブラックエンブタン、ブリンドル、斑などがあ

り、耳の飾り毛や口吻は黒いものが好まれる。雄は体高二〇センチ前後、体重三・二〜六・五キ。雌はやや小さい。

壁面線 へきめんせん 都市のなかで、建築物の位置を整え、町並みをそろえるなど、都市環境の向上を図る必要があると認められるときに決められる線のこと。建築審査会の同意を得て特定行政庁が指定する。個々の建築物の壁、柱、一定の高さ以上の門、塀は、この線より後退して建築されなければならない。指定の際には、あらかじめ一定の期日までに指定の計画などを公告し、その指定に利害関係を有する者の出頭を求めて公開による聴聞を行う。なお、地盤面下の部分や、特定行政庁が建築審査会の同意を得て許可した歩廊の柱などについては、その制限を受けない。

汨羅 へきろ ミールオ 中国、湖南省北東部にある岳陽市内にある県の名。湘江の一支流汨羅江(全長二五〇キ)の下流域にあり、戦国時代、楚の忠臣で詩人として有名な屈原(前四二?〜前二二〇?)が、国を憂い身を投げた所として知られる。屈原を記念する屈子祠や屈原の墓などの古跡がある。↓屈原

日置流 へきりゅう 弓術の流儀。流祖は日置弾正正次。日置弾正については出生、経歴に多くの説があり、はっきり断定できる資料はないが、一面多くの伝説を有することは、当時弓術において顕名な人であったと考えられる。いろいろな説において、大和の人で高野山で剃髪し瑠璃光坊威徳(道一)と号し、一五〇〇年(明応九)高野山にて五九歳で没したことはほぼ一致しているが、これにも異説がみられる。まず生国については大和・近江・伊賀の三説がある。また没した年も伝書によっていろいろ異なるが、逆算していくと、ほぼ一四四〇年(永享一二)から一五〇〇年ごろの間、室町時代に活躍した人と考えられる。この日置流は、門人がそれぞれ分派して流派をたてていることが示される。この日置弾正の流儀は近江蒲生郡の人吉田上野介重賢に継承される。重賢は弾正正次より伝受された奥義をくふうし、のちに吉田流を名のようにになった。弾正正次の別名に政次、豊秀、影光、宗品がみられる。正次と重賢の同一人説もある。

ベギン Menahem Begin (一九一三〜) イスラエルの政治家。ポーランドのプレスト・リトフスク生まれ。ワルシャワ大学法学部卒業。



ベギン

早くからシオニズム運動に参加し、一九四二年パレスチナに移住。四三年以来非法地下軍事組織イルグンを指揮し、イギリスの委任統治に武力で抵抗。四八年ヘルツル党を結成し、その総裁。第三次中東戦争後七〇年まで挙国一致内閣の無任所相として入閣した以外は、絶えず右翼の野党指導者として活躍。七三年右翼連合リクードを結成し、七七年六月以来首相を務める。七八年キャン・デービッド協定の調印に踏み切ったのち、七九年エジプトと平和条約を締結し、エジプトとの長い戦争状態を終結させた。七八年エジプトのサダトとともにノーベル平和賞を受賞。八三年辞任。

北京 ベキン/ペイチン 中国の首都。国の直轄市。華北平原の北端、東北、蒙古高原と華北を結ぶ要地に位置する。面積一萬六八〇八平方キ、人口九四五万八〇〇。市区は五七五万四六〇〇(元都)。一〇市轄区(東城区、西城区、崇文区、宣武区、海淀区、朝阳区、豊台区、門頭溝区、石景山区、房山区)、八県(昌平県、延慶県、懷柔県、密雲県、順義県、平谷県、通県、大興県)よりなり、その範囲には長城以北の地域も含まれている。なお、北京旧城の範囲は、内城東半部を占める東城区、西半部を占める西城区と外城東半部の崇文区、西半部の宣武区の四城区で、これを取り巻いて六郊区がある。

〔自然〕北京の地形は北西に高く、南東に低く、北部、西部を山地で囲まれ、渤海に向かって平原が広がる。西部の山地は太行山脈の一支脈である西山で、北部は燕山山脈に属する軍都山である。ともに標高四〇〇〜一五〇〇メートル程度の山地で、まれに二〇〇〇メートルを超える山もみられる。北京の河川は、海河の支流で北西から南東に流れる永定河と南流する潮白河の二河川が重要で、旧北京城は両河の間、永定河の沖積扇状地上につくられている。気候は、冬は寒冷

で乾燥し、夏は暑熱で多雨となる。一月の平均気温は零下四・六度C、七月の平均気温は二五・九度C、年降水量は六四五・二ミで、降水の大部分は夏に集中する。

〔市街〕新中国成立以来、北京の都市建設は急速に発展し、新築の建物が急増し、著しく市街地が拡大している。旧城壁は撤去され、幅が四〇〜一〇〇メートルに拡張された長安街は旧城外へ東西に延長され四〇キに及ぶ。その中心の天安門付近は五〇万人を収容できる大広場として整備され、人民大会堂、中国歴史博物館、中国革命博物館などが建設されて面目を一新している。この付近は中央官庁地区であるが、近年は西郊へ新庁舎の建設が進み、北西郊に広がる文教地区とともに著しい変化を示している。また、東郊から南郊にかけては工業地帯として大発展を遂げた。さらに、これらの地域を貫いて旧城内を取り巻く大環状路がつくられており、宮城都市から近代都市へ、消費都市から生産都市へと性格を変えつつある。

〔産業〕工業は、工作機械、農業機械、鉄道車両、自動車、電気・電子機器、合成繊維、プラスチックなどの重化学工業、および綿紡績、羊毛紡績、食品、医薬、印刷、製紙などの軽工業が立地している。西山には豊富な無煙炭が埋蔵され、門頭溝区における近年の出炭の機械化によって急激に産出量が増加している。石景山区には大製鉄所があり、製鋼、圧延などの工場とともに諸種の関連原料を生産する工場も設けられて、大鉄鋼コンビナートを形成している。また南郊には長辛店汽車工場のほか農業機械、橋梁、自動車部品などの工場があり、東郊では国立綿紡績工場などが操業している。伝統工業では景泰藍(七宝燒)、玉器、象牙彫刻、漆器など古来の精緻な工芸品がある。北京の水利用は、永定河上流の三家口から直接北京城内に引水されるものと、北方の潮白河上流地域の密云、懷柔ダムや十三陵ダムなどの多目的ダムによるものがある。これらによって洪水の防止や農業・工業用水、上水道の水源確保など水の安定した供給が可能となっている。近郊では野菜や果樹栽培などが急速に増え、水田の造成、アヒルや乳牛の飼養も大規模化している。

〔交通〕北京は全国鉄道網の大中心をなし、京広、京滬、京包、京承、京滬などの鉄道が全国各地と連絡する。北京北東三〇キの順義県には北京首都空港があり、国内の主要都市のほか、

①



②



③



④



⑤



北京

①故宮博物院の北にある景山公園から鼓樓を望む。中央を貫くのは地安門大街

②北海の湖中にある瓊華島。中央にそびえるのは1651年に建てられたチベット式の白塔

③北京最大の繁華街王府井大街。北京飯店、百貨大樓などホテルや高級商店が多い

④屋台の飲食店でくつろぐ若者たち

⑤市内で開かれる自由市。近郊の農村で生産される食料品などが売買される

国際線によって世界各地と連絡する。市内の交通はおもにバスとトロリーバスで、道路、緑地も整備されている。また、一九七〇年に北京駅、蘋果園間の地下鉄が開通し、八四年には長椿街でこれと相互乗り入れする環状線が完成した。

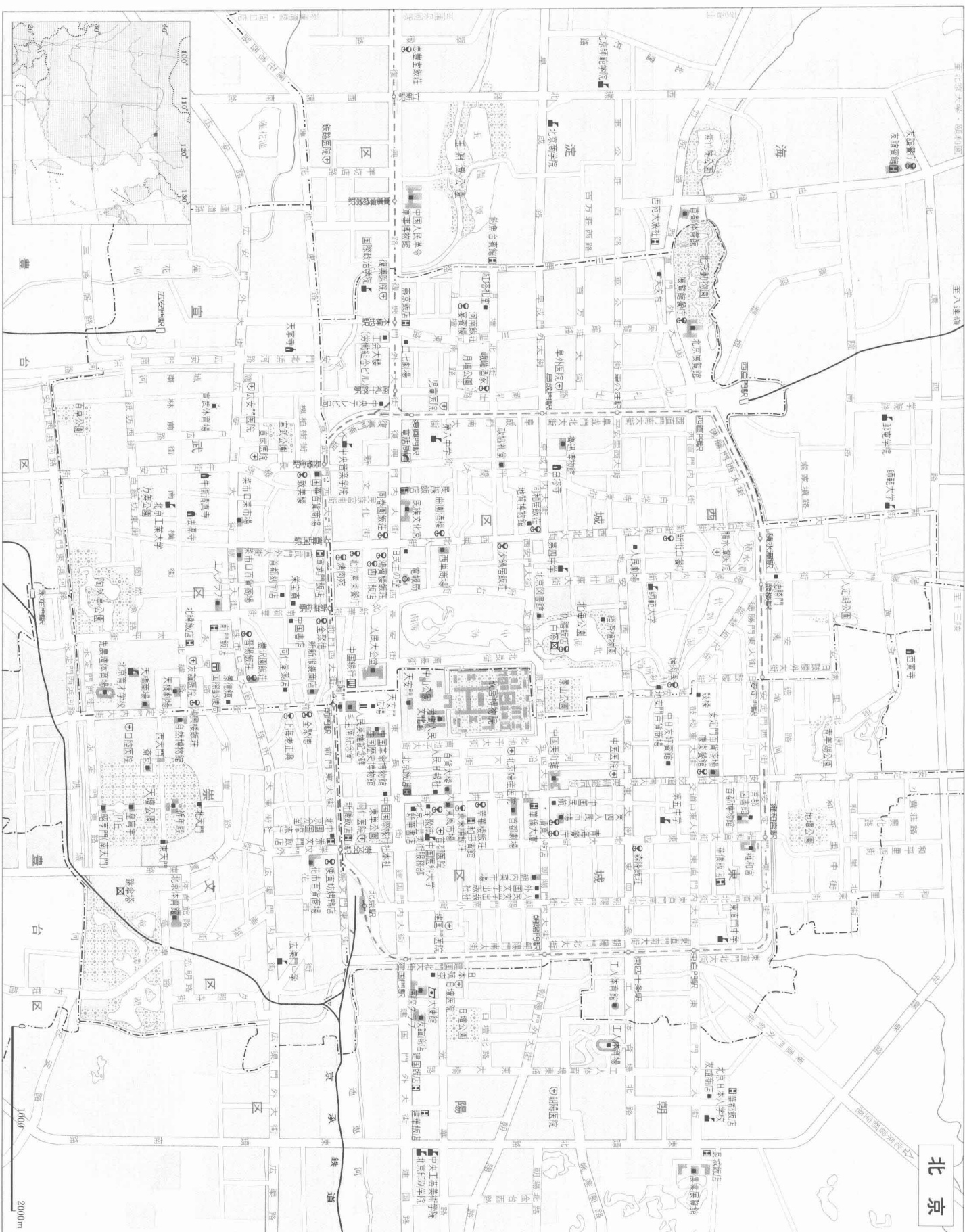
〔文化・観光〕国内でもっとも重要な学術、文化の中心で、中国科学院や中国社会科学院の各研究所をはじめとする各種研究機関や、北京大学、清華大学、北京師範大学、北京人民大学、中央民族学院など多くの高等教育機関があり、西郊文教地区の中心には科学大会堂など学術会議場も設けられている。文化施設に前述の中国歴史博物館、中国革命博物館のほか、北京図書館、労働人民文化宮、中国人民革命軍事博物館、北京展覽館、農業展覽館、北京動物園などがあり、北京工人体育場、首都体育館、北京体育館などのスポーツ施設も整備されている。

歴史的都市北京には古跡、名勝が数多く存在する。旧内城の中心、紫禁城は明・清代の皇宮で、故宮博物院として一般に公開されている。南門（午門）の外には太廟（現在の労働人民文化宮）、社稷壇、現在の中山公園）が相対していて、その南に紫禁城を含む皇城全体の正門である天安門がある。故宮西隣の北海、中海、南海は北方の什刹海に続く池で、皇城の庭園としてつくられた。北海は、故宮の北の景山とともに公園となり一般に開放されている。旧外城の東部には明・清代の祭場である天壇がある。また紫禁城北門の地安門外にある鐘樓、鼓樓は元代の大都の中心とされている。旧城壁内北東には国子監（現首都図書館）、孔子廟とラマ

教寺院の雍和宮などがある。西郊には頤和園、玉泉山、碧雲寺、臥佛寺や西山八大処など名勝が多い。南西郊の永定河の渡河点に蘆溝橋がある。金朝時代につくられた大理石の美しい橋で、マルコ・ポーロが『東方見聞録』で紹介したことから、欧米ではマルコ・ポーロ橋とよばれる。一九三七年（昭和一二）同橋付近で起こった日・中両軍の衝突により日中戦争が始まった。また、南西約五〇〇の周口店は、有名な北京原人の化石出土地で、発掘場所の竜骨山には展覽館が設けられており、北京原人の文化や進化過程をみることができる。北北西約五〇〇には、明の皇帝の陵墓十三陵があり、その西方が古来モンゴル高原に通じる重要な関門として有名な居庸関や八達嶺で、八達嶺からは万里の長城を見学できる。

〔歴史〕戦国時代は燕の首都薊。秦以後の薊、唐の薊、宋の幽都、遼の南京府、金の燕京府、元の大都、明の北平府、清の北京府、中華民国の北平市（北平市）にわたる。この間、秦の大興、宛平の二県、中華民国一七年（一九二六）以後の北京市（北平市）にあたる。この間、秦の大興、宛平の二県、中華民国一七年（一九二六）以後の北京市（北平市）にあたる。この間、秦の大興、宛平の二県、中華民国一七年（一九二六）以後の北京市（北平市）にあたる。

五代の後晋のとき、燕雲十六州の一として契丹（遼）の領域となり、遼は九三六年に国都とした。宋は、その奪還を企てたが成功せず、かえって一二二五年、遼を滅ぼした女真（金）に占領された。金は中都城を築いて遷都し、遼代の都城を二倍に拡張し、宋を圧して繁栄した。一二一五年モンゴル（元）はこれを陥れ、六三年遷都して大都城を築いた。それは金の中都城の北東方、後の北京城のほぼ内城の部分で、モ



ンゴル人はカンバリック Khanbaliq (可汗の城)とよび、マルコ・ポーロなどヨーロッパ人もカンバリック、またはタイズー Taidu (大都)といった。当時は、ユーラシアにまたがる大帝国の首都として内外水陸交通の中心であり、人口も一〇〇万を擁し、公娼だけでも二万五〇〇〇人、毎日一〇〇〇の馬車が内外の珍貨を運び、城外にも宏壮建築が並んだという。明代には、初めモンゴル防衛の拠点として、太祖朱元璋の第二子燕王棟に大兵を授けて駐留させ、燕王が即位(永楽帝)すると、一四二一年、南京から遷都して北京と改称し、豪壮雄大な城郭を築いた。初め周囲約四〇華里(一華里は約三二二〇)の内城を、一五五三年約二八華里の南面外城を築き、数十万の人口を擁し、江南に通ずる大運河によって経済的基盤を固め、首都として繁栄した。一六四四年、清を攻陥した清も、そのまま受け継いで首都とし、おもに内城には満州(女真)人、外城には漢人その他を住まわせた。ヨーロッパ人は内城をタタール・シテイ Tatar city、外城をチャイニーズ・シテイ Chinese city とよぶ。清末のアロー戦争後、一八六〇年イギリス・フランス連合軍の侵略を受け、北京条約を結んで各国公使館が設けられることとなった。一九〇〇年には義和団事件のため日・英など八か国連合軍に攻められ、中華民国時代には北洋軍閥の拠点、保守派の金城となり、革命勢力の基地広東・南京と対立し、内外政治の葛藤の場となり、日中戦争のときは支那駐屯軍総司令部が置かれ、日本の中国侵略の拠点となった。↓紫禁城 《星 斌夫》

④ 中国人民美術出版社・講談社編『新・中国の旅1 北京とその周辺』(一九六五・講談社)▽陳舜臣著『北京の旅』(一九六六・平凡社)▽田所竹彦著『北京をぞろある記』(一九六六・朝日新聞社)▽嶺山康彦著『北京の史蹟』(一九六六・平凡社)

北京官話 ペキンかんわ 中国の標準語に対する旧式の呼称。中国語(漢民族の言語という意味で「漢語」ともいう)は、方言の差異が大きいが、呉語(上海語)、福建語、広東語など南方の諸方言に対し、主として揚子江以北の広い地域に広がる北方方言は、内部の相違が比較的小さい。南方方言と北方方言との差異は日本語の沖縄方言と本土方言との差異に、北方方言内部の差異は本土方言内部(東京と大阪など)の差異に例えられよう。この北方方言に基づく標準語的

標準語的中国語を清朝時代に官話(公用語の意)とよび、そのなかでもとくに北京風の発音によるものを北京官話と称した。南方中国において、官話は、北京の朝廷から任命される官僚が用いるものであったため、「役人ことば」の含義を生じ、英語では mandarin (中国の官僚)にちなみ、そのまま Mandarin と訳する。歴史的に中国の政治・文化の中心は北方にあり、『水滸伝』『西遊記』『紅樓夢』などの白話小説(口語的文体による小説)も北方方言で書かれて官話普及の母胎となった。北京官話は、中華民国時代には「国語」とよばれ、中華人民共和国では「普通話」とよばれて、学校教育などにより、いっそうの普及が図られている。テレビ、ラジオが「普通話」によるのはもちろんである。かつては南京方言に基づく南京官話が揚子江下流域に勢力をもち、江戸時代の唐通事(中国語の通訳官)や白話小説の愛好者が「唐話」として学んだのも南京官話風の中国語であったが、明治維新後に清朝との国交が開かれるに及んで、北京官話の学習が重んぜられるようになり、今日、中国語として日本人が学ぶのもその系統を引く「普通話」にはかならない。↓中国語 《平山久雄》

④ 詹伯慧著、樋口靖訳『現代漢語方言』(一九八三・光生館)

北京議定書 ペキンぎていしよ 義和団事件の講和に関する最終議定書。辛丑条約ともいう。中国清末の排外運動であった義和団事件鎮圧には共同歩調をとれた列強も、その後の状況に対する意図はまちまちであった。そのため講和会議は難渋を極め、約一〇か月も要した。ようやく一九〇一年九月七日、イギリス、フランス、アメリカ、ロシア、ドイツ、日本などの一か国は、北京で清朝と条約を締結した。条約は全部で一二条、ほかに附件九件。おもな内容は、①ドイツ、日本への謝罪使の派遣、②事件指導者の処罰、③外国人が殺害された地方での科挙の停止、④関税、塩税を担保とした総額四億五〇〇〇万両の賠償、⑤総理各国事務衙門を外務部に改め、六部の上位に置くこと、などである。この条約で清朝そのものの存続はなお認められたが、しかし中国の半植民地化は決定的なものになった。↓義和団事件 《倉橋正直》

ベーキングパウダー baking powder 食品加工における膨剤の一種。一般に膨らし粉ともいう。原料は炭酸水素ナトリウム(一般名

は重曹)を主体とし、中和剤としての酸剤(リン酸アンモニウム、ミョウバンや焼きミョウバン、酒石酸水素カリウムなど)が配合される。炭酸水素ナトリウムだけでも膨剤として使えるが、反応後にアルカリ性物質が残るため、風味が低下し、しかもビタミンB₁、Cなど、アルカリ性で不安定なビタミン類が破壊される。これを改良するために、酸剤でアルカリを中和したのがベーキングパウダーである。ベーキングパウダーの膨剤としての働きは、水分がある状態で加熱されると化学反応をおこして二酸化炭素(炭酸ガス)が発生する。このガスにより生地に気泡ができて膨化する。配合を変えることによって、速効型、遅効型など、目的に応じたものがつくられる。また、製品によって風味に影響を及ぼすものもある。ベーキングパウダーは炭酸水素ナトリウムと酸剤をあわせた形なので、水分や熱にあうと反応しやすい。保存には湿気を避けることがたいせつである。また、ケークの生地に加えたあとはずすぐに焼くことが必要で、配合したまま放置すると膨化効力を失う。なお、パンに用いるイーストも膨剤であるが、イーストは化学反応ではなく、酵母菌の繁殖によって生じる二酸化炭素を利用したものである。↓イースト 《河野友美》

北京原人 ペキンげんじん Peking man 中国、北京周口店出土の原人段階の化石人類の通称。学名はホモ・エレクトウス・ペキネンシス *Homo erectus pekinensis*。シナントロプス・ペキネンシスはその旧学名。人類学史上一般に、重要な化石標本が発見されても、多くの問題点をほらみ、すんなりと承認されることは少ないが、北京原人は多くの学者の期待を受けながら発見された希有な例といつてよい。

一九二六年、中国の地質調査所所長として北京に滞在していたスウェーデンの地質学者アンダーソン J. G. Anderson は、周口店において人類らしいものの歯を発見したと発表した。二七年末から、カナダの解剖学者で北京協和医学院教授であったブラック David Black が、ロックフェラー財団の援助のもとに発掘調査を開始した。その際ブラックは、先に発見されていた大臼歯の持ち主をシナントロプス・ペキネンシスと命名した。二九年末に中国の人類学者裴文中が頭骨第一号を発見し、以後、頭骨六点を含む約四〇体分の原人骨格と一四九本の遊離した歯が発掘された。ブラックが急死した翌年

の三五年、ドイツ出身の人類学・解剖学の泰斗ワイデンライヒが彼の後任として迎えられた。三七年、日中戦争が勃発して発掘調査が不便になり、四一年、ついに戦火を避けて全標本をアメリカ合衆国に発送したが、その翌日に太平洋戦争が宣せられ、標本のすべてが紛失してしまった。今日、依然としてその行方は不明のままである。しかし、ワイデンライヒによる優れた模型標本が残されていたことは不幸中の幸いであらう。大戦後に再開された発掘では、頭骨片や歯などの数点が発見されたにすぎない。標本が発見されたのは石灰洞穴内の堆積物中からであるが、奇妙なことに、その大部分は頭骨と歯であり、四肢骨はわずかである。頭蓋容量は約九〇〇〜一二〇〇ccリットルで、眼窩上隆起の発達が著しい。上顎切歯の舌側面にみられるシャベル状のくぼみはモンゴロイド一般にみられる特徴であるため、北京原人をモンゴロイドの直系の祖先とする学者もいる。もう一つの代表的原人であるピテカントロプス(ジャワ原人)より進歩的とみられている。木炭や灰が伴出するので、火を使用していたと考えられる。石器が随伴して発見されているが、東アジアに広く分布するチャップマン・チャップリング・トールとよばれるものである。生存した年代は第四紀更新世(洪積世)中期、約五〇万〜二〇万年前と推定されている。↓原人 《香原志勢》

④ 松崎寿和著『北京原人——世紀の発見と失踪の謎』(一九七三・学生社)

北京条約 ペキンじょうやく 中国、北京で清国が諸外国と結んだ十数種の条約の通称。ただし、北京で結ばれた条約すべてを含むものではない(義和団事件後の辛丑議定書はその一例)。もっとも有名なものは、一八六〇年一月イギリス、フランスと、一月にロシアと個別に結んだ三つの条約である。清英、清仏間の条約は五七年來のアロー戦争(第二次アヘン戦



北京原人(複製)

争)を終わらせたもので、五八年の天津条約を
確認したほか、①天津条約に規定された賠償の
増額(各八〇〇万兩へ)、②天津の開港、③中
国人労働者の募集と渡航の承認、④イギリスの
九竜司地方(九竜半島南端の市街地部分)の割
譲、⑤没収したカトリック教会財産のフランス
への返還を承認した。ロシアとの北京条約は、
ロシアが清と英仏との講和を斡旋したことか
ら、ロシアの要求を受け入れて結ばれたもので
、五八年のアイグン(愛琿)条約で、国境確
定まで両国で共有することとされていたウスリ
ー川以東の沿海地方をロシア領とすること、ク
ーロン、カシユガル、張家口を貿易地として認
めることなどからなる。

北京での条約調印は、従来、清朝が固く拒否
し、イギリス、フランスがその実現に固執して
北京の軍事占領に至ったもので、この実現自
体、清朝の国際的地位の質的变化の象徴であっ
た。事実、清朝ではこの条約締結を機に、保守
排外派が宮廷政変によって後退し、条約締結に
あつた恭親王奕訢らが中心となって、外交の
専門機関(総理各國事務衙門)を設立して、対
外和親政策に転換し、イギリス、フランス両国
は清朝を支持して、その太平天国鎮圧を積極的
に援助するようになった。

北京大学 ベキンだいがく 清朝末期一八九八
年設立の京師大学堂が前身。中国の首都北京北
西部にあり、一九一二年中華民国の成立に伴い
北京大学と改称され、初代校長に思想家嚴復
が就任した。一九一六年蔡元培が校長に就任す
るに及び大学は新文化運動の中心となり、一九
年の五・四運動の主要な担い手となった。中華
人民共和國成立(一九四九)後は、一九五二年
の大学再編成により、燕京大学、清華大学
との間で学系の調整が
行われ、文理系の総合
大学となった。文化大
革命直後は修業年限が
短縮されたが、その
後、学部四年、碩士二
〜三年、博士二〜三年
制となる。七七年以
後、入学者の選抜は全
国統一入試による。↓
嚴復 ↓蔡元培



北京大学 市北西部の海淀区にあり、清朝高官の
別邸跡をそのままキャンパスに取り込んでいる。
写真は大学正門

一九八五年現在、二五学系のうち一二学系は
自然科学(数学、力学、物理学、技術物理学、
無線電子学、地球物理学、化学、生物学、地質
学、地理学、計算機科学技術、心理学、一三
学系は人文・社会科学(中国語・中国文学、歴
史学、考古学、哲学、経済学、法律学、国際政
治学、社会学、図書館学、西語・西欧文学、
東洋学、東洋文学、ロシア語・ロシア文学、英
語・英文学)である。このほかにマルクス・レ
ーニン主義と体育の教育研究部がある。近年研
究面での充実が目覚ましく、数学、固体物理、
理論物理、重イオン物理、物理化学、分子生
物、計算機科学、遠隔探査工学、アジア・アフ
リカ研究、外国哲学、南アジア研究、マルク
ス・レーニン主義、国際法、経済法、高等教育
科学、比較文学、人口理論、中国古典、中国中
世史の一九研究所が設置されている。一九八五
年、教員約二九〇〇人、学生約一万三〇〇〇
人、うち外国人留学生約二七〇〇人。↓燕京大学
↓清華大学

ペンダック Pekin duck 北京家鴨 中国
鳥綱カモ目カモ科の鳥。アヒルの一品種。中国
でつくられた白色の大形肉用種である。中国料
理として有名な烤鴨子は、強制肥育した本種の
若鳥を丸焼きにし、脂肪に富んだ柔らかい皮膚
を賞味するものである。また、本種の羽毛は羽
ぶとん用として、綿羽はダウン衣料として広
く利用されている。↓アヒル

北京動物園 ベキンどうぶつえん 中華人民共
和国を代表する動物園。その初めは一九〇六年
清朝の西太后の治下に創立されているが、一九
四九年中華人民共和國が成立すると、革命政府
によりだちに現在の地に大規模な動物園の建
設が始められ、翌五〇年に一般公開されてい
る。北京市農林局に所屬する。面積五六ハクタ
ー、中国に産する動物の収集ではほかにみられ
ないものがある。国交再開を記念して日本に贈
られたものをはじめ、ジャイアントパンダはす
べて北京動物園を通してもたらされたものであ
る。野生のフタコブラクダやヤク、ゴールデン
ターキン(シャンシーターキン)、イボハナザ
ルなど、世界のほかの動物園ではみられない動
物を多く飼育している。《斎藤 勝》

北京放送 ベキンほうそう 中華人民共和國の
国際放送の名称。中国の放送は国営で、国务院
のラジオ・テレビ省が統括管理しており、その
なかの国際广播电台(放送局)が国際放送を実施
している。国際放送は一九五〇年に始まった
が、現在では三九言語で一〇方向に行われている。
一日約一三二時間三〇分、主として短波を用い
ているが、日本向けなどは中波である。番組内
容は、ニュース、国際政治・時事問題の論評、
中国文化の紹介、音楽などで、これらの番組に
よって中国の現状や国際政治・経済に関する中
国の主張を宣伝している。日本向け放送は四九
年から始まり、現在は一日約六時間三〇分放送
されている。なおこれとは別に、中国では海外
の華僑向けに五種類の中国語で放送を行って
いるが、これは国内放送の一部とされており、国
際放送とは別扱いになっている。《田村 穰生》

ペグー Pegu ビルマ南部、ペグー管区の
中心都市。ペグー山地南端に発しラングーン川
に合流するペグー川東岸に位置する。人口一三
万五〇〇〇(一九七五)。交通の要衝で、南西七〇
°の首都ラングーンから、北のマンドレー、南
東のモルメインに至る鉄道、道路の分岐点で

ペキンパー Sam Peckinpah (一九二五
〜) アメリカの映画監督。カリフォルニア州
フレズノ生まれ。ドン・シーゲル監督に師事
し、テレビや映画のシナリオを書くようにな
り、一九六一年の『荒野のガンマン』で長編劇
映画の監督となった。『ワイルドバンチ』(元
交)、『砂漠の流れ者』(元交)などの西部劇、
『わらの犬』(元交)、『ゲッタウェイ』(元交)
などの現代を描くアクション映画に、それぞれ
一時代を画する作品を残した。美しいスローモ
ーションや斬新な編集のテクニクを生かし
て、アウトサイダーたちの心情を激しい暴力描
写とともに映像化した作品が多い。《岡島尚志》

ヘキサコード Hexachord 六音から構成される音
階。下から三番目と四番目の音の間がつねに半
音の音程をもち、他のすべての音の間は全音の
音程をもつ。したがって、ヘキサコードの両端
の音はかならず長六度音程に開いている。ピア
ノでは八音からイ音までの六つの白鍵によっ
て、また階名唱法ではドレミファソ
ラによって、ヘキサコードを表すことができ
る。ヘキサコードの音階は、近代西洋音楽にお
けるようなオクターブの反復といった基本観念
をもたず、旋法性が支配する中世からルネサ
ンスにかけての音楽に相応する。とくに一六世紀
のミサ曲やマドリガーレなどにおいて、この音
階はしばしば定旋律として用いられた。なお、
ヘキサコードに関する音楽理論は、イタリアの
理論家グイド・ダレツォによってすでに一
〇世紀に体系化されている。《黒坂俊昭》

ペグー山脈 Pegu Yoma ビルマ中南部の丘陵性の山脈。ペグー・ヨマ
ともいう。ラングーン東部から南北に延び、イ
ラワディ川流域とシタン川流域の分水界をな
す。全長約四三〇キロ。高度は二〇〇〜前夜の
ところ。大部分で、最高峰は北部のボバ火山(二
五九〇メートル)。チーク材の産地であるが、雨の多い南
部は密林となり、ゴム園もある。《大矢雅彦》

ヘクシャー Eli Filip Hecksher (一八九
一〜) スウェーデンの経済学者、経済史家。
ストックホルムに生まれる。ウプサラ大学卒業
後、ストックホルム商科大学経済学・統計学教
授を経て、ストックホルム経済史研究所所長と
なる。経済政策の歴史的研究とスウェーデン経
済史の数量的解明に没頭したが、今日ヘクシャ

ある。東方のシタン川河口との間にペグー運
河が通じ、シタン川谷の物産を舟運でラング
ーンへ送る。仏像や陶磁器の製造など伝統工業
が行われる。町の歴史はきわめて古く、九世紀
前期にモン族によって創建され、一四世紀後期
から一六世紀前期まではペグー王朝の都であつ
た。その後、ビルマ民族が建てたトーンギー王
朝の都となり、一七世紀前期までその座にあつ
たが、以後、モン族とビルマ族の間で争奪が繰
り返された。一八五二年の第二次ビルマ戦争後
はイギリス領に帰属した。高さ一三三メートルのシ
ュウモルダー・パゴダや、身長五五五の巨大な
涅槃像で知られるシュウエタリヤウン寺院など
歴史的建造物が多い。《酒井敏明》

ヘキサコード Hexachord 六音から構成される音
階。下から三番目と四番目の音の間がつねに半
音の音程をもち、他のすべての音の間は全音の
音程をもつ。したがって、ヘキサコードの両端
の音はかならず長六度音程に開いている。ピア
ノでは八音からイ音までの六つの白鍵によっ
て、また階名唱法ではドレミファソ
ラによって、ヘキサコードを表すことができ
る。ヘキサコードの音階は、近代西洋音楽にお
けるようなオクターブの反復といった基本観念
をもたず、旋法性が支配する中世からルネサ
ンスにかけての音楽に相応する。とくに一六世紀
のミサ曲やマドリガーレなどにおいて、この音
階はしばしば定旋律として用いられた。なお、
ヘキサコードに関する音楽理論は、イタリアの
理論家グイド・ダレツォによってすでに一
〇世紀に体系化されている。《黒坂俊昭》

ーの名を高からしめているものは「ヘクシャー・オリーンの定理」であろう。これは、彼が「一九一九年にスウェーデン語で発表した論文『所得分配に及ぼす外国貿易の効果』（英訳版は「一九四九年刊」）のなかで明らかにしたもので、国際的な生産要素賦存状態の相違が各国の比較生産費差を通じて貿易を発生させること、自由貿易が輸出と輸入を通じて各国の生産要素賦存状態をかえ、国際的に生産要素価格を均等化する傾向をもつことを明らかにしたものである。

また、名著『重商主義』全二巻（三）は、ケインズが「雇用・利子および貨幣の一般理論」の重商主義論で依拠した文献として有名である。ヘクシャー・オリーンの定理（村上 敦「ヘクシャー・オリーンの定理」）のていり Theorem of Heckscher-Ohlin 外国貿易で「国がどのような産業に比較優位をもつのかを、一国と他国の間の生産要素の豊富さの程度の違い（生産要素の賦存の違い）」という面から解明したのが、ヘクシャー・オリーンの定理である。スウェーデンの経済学者E・F・ヘクシャーとB・G・オリーンによって明らかにされたのでそうよばれている。

いま、A国とB国という二つの国で、X財とY財という二種類の財が、両国で等しい技術水準のもとで労働と資本によって生産されるといふ、単純なケースを想定しよう。二国間で生産要素の賦存が異なり、A国は相対的に労働が豊富でB国は資本が豊富であるとすれば、通常はA国では賃金率は低くB国では資本用役の単位当り報酬率（レנטアル率）は低くなるであろう。また、生産に投入される生産要素の比率（労働と資本の比率）は二種類の財の間で異なり、X財はY財に比べて労働よりも資本をより多く投入するような財（資本集約的な財）であり、Y財は労働集約的な財であるという。そうすると、資本集約的なX財は、その生産により多く投入される資本用役の単位当りのレントアル率の低いB国において、より安い費用で生産され、他方、労働集約的なY財は、その生産により多く投入される労働の賃金率の低いA国でより安く生産されるであろう。すなわち、労働が豊富な国は労働集約的な産業に比較優位をもち、資本が豊富な国は資本集約的な産業に比較優位をもつという命題が導出される。そのような命題をヘクシャー・オリーンの定理という。ヘクシャー・オリーンの定理のもう一つの側

面は、生産要素価格の均等化である。それぞれの国がそのような比較優位産業に特化し相互に貿易が行われるようになると、A国では労働集約的なY財の生産が拡大し、資本集約的なX財の生産は縮小することになる。このことは、資本用役に比べて労働用役に対する需要が増加することを意味し、それに伴ってA国で賃金率が上昇するであろう。B国では逆に、資本集約的なX財の生産が拡大し労働集約的なY財の生産が縮小して、資本のレントアル率が上昇するであろう。こうして貿易は、両国間の賃金率とレントアル率の格差を狭めるような効果をもち、国際間の生産要素の移動に代わって、貿易が生産要素の報酬率（生産要素価格）を均等化する作用をするのである。

ヘクシャー・オリーンの理論は、多くの学者によって純粋理論として体系化されたが、レオンチェフ・パラドックスとして知られるW・レオンチェフによるアメリカの貿易パターンの実証的研究の結果をはじめ、実証的な面でいくつかの問題点が指摘されている。↓レオンチェフ・パラドックス（志田 明）

ベクシー Vexio スウェーデン南部、スモーランド地方にある商業都市。人口約四万三〇〇〇（一九七〇）。ヘルガ湖東岸に位置し、交通の分岐点。地方商業の中心であり、また看護学校など学校が多い。工業は小規模なガラス、家具、乳製品が多い。一七二二年司教居住地となり、宗教的中心地として繁栄したが、一六五八年のデンマークとの平和条約成立までは数回の戦火にみまわれて停滞し、一九世紀の鉄道敷設により発展した。アメリカ移民センター、工芸博物館がある。（中島香子）

ヘクソカズラ 〔屁糞葛〕(学) *Pedicularis scandens* (Tour.) Merr. アカネ科の藤本（つる植物）。ヤイトバナ（炎花）、サオトメバナ（早乙女花）ともいう。乾くと全草黒っぽくなる。地面をはって長く伸びる茎には花はつかない。花のつく茎は、他物に巻き付いて高く上る。枯れないで残った茎は木質化して肥大成長し、径一センチになる。葉は対生し、卵形。七、九月、枝先や葉腋に集散花序をつくり、多数の花を開く。花冠は筒形で五裂し、外側は灰白色、内側は赤紫色。果実は球形、先に小さくこがった萼片が残る。種子は二個。日本、および中国南部、インド、東南アジアに広く分布する。植物体をもむと悪臭があるので屁糞葛の名があ



ヘクソカズラ

り、花冠内側の赤紫色が、炎をすえた跡に似るのが炎花の名がある。早乙女花は、花序を早乙女が用いるかんざしに見立てたものと思われる。花冠に唾液をつけ、顔などにくっつけて草花遊びに用いられる。靱皮繊維が長く、茎は紐の代用となり、中国では茎を咳どめの薬としてたり、紙の原料とする。

ヘクソカズラ属は熱帯を中心に約四〇種分布する。（福岡誠行）

ヘクトール Hectare メートル法の面積の単位。一〇〇アール、つまり一万平方メートルである。記号はha。もっぱら土地に用いられる。土地面積は、通常、新しい単位に変更するのが困難なのであるが、日本では尺貫法の一町歩が〇・九九アールで実際上同一とみなせるので、大きな抵抗なしに普及した。（小泉製鉄）

ペクチン pectin ペクチン質の一種で、水溶性のペクチン酸をいう。基本構造はガラクトキロン酸が直鎖状に連なったもので、カルボキシル基の一部がメチルエステルになっている。普通六〇％以上のメチルシル基をもっている。帯黄白色の無定形粉末で、水に溶けて粘度の高いコロイド溶液となり、これに酸あるいは糖を加えるとゼリー状となる。

ペクチン質は主として植物の細胞壁の中層を形成する物質で、細胞どうしを接着する糊の役目をしている。ガラクトキロン酸がグリコシド結合で二〇〇以上重合したものをペクチン酸といい、ペクチン酸の一部がメチルエステル化したものがペクチンであり、ペクチンがさらにカルシウムやマグネシウムと分子間結合をして不溶性となったものがプロトペクチンである。ペクチン質は果実の成熟に伴って変化し、熟成の過程で重要な役割を果たしている。果実の成熟する初期にはプロトペクチン、ペクチン酸塩だけが蓄積しているが、成熟とともに水溶性のペクチンに変化し、ペクチン酸塩は消失して果実

は柔らかくなってくる。ペクチンは熟した果実に大量に存在するので、リンゴやミカン類の果実をすりつぶしたものを酸性の水で熱抽出して得られる。工業的には、さらに抽出物を脱色後、濃縮するかアルコールなどで沈殿させて精製する。砂糖を加えると固まってゼリー状になる。ジャムおよびゼリー製造に利用される。微生物培養の固形培地として寒天、ゼラチンの代用にするほか、医薬、乳化剤、化粧品、歯みがき粉などに利用される。（吉田精一）

〔人体との関係〕水溶性のポリガラクトキロン酸（多糖の一種）である。メトキシシル含量七〇％以上のものを高メトキシペクチン、七〇％以下のものを低メトキシペクチンという。酸性下（pH二・三・五）でショ糖、グルコースを五〇％以上含むゼリーをつくる性質があり、低メトキシペクチンもカルシウムイオンの存在でゲル化するのでジャムなどの加工に利用される。人間はペクチン消化酵素をもたないので消化吸収できないが、腸内細菌は分解するものが知られている。水溶性の食物繊維の一つであり、血中コレステロール濃度を低下させる作用をもったペクチンがある。（不破英次）

ヘクト Ben Hecht (ハニートン) アメリカの小説家、劇作家。第一次世界大戦前後、「シカゴ文芸復興」期を背景に作家活動を始め、精神の退廃をえぐるセンチメンタルな小説「エリック・ドーン」(一九三三)で文名をあげる。のち劇作でも成功。「ベン・ヘクト短編選集」(一九五五)はえりすぐった作品で編まれている。第二次大戦後、反ユダヤ主義を激しく非難し、イスラエル論「背信」(一九六六)を書く。また、自伝「世紀の子」(一九七五)がある。（大橋健三郎）

ヘクトコチルス 交接腕

ペクト山 白頭山

ヘクトパスカル hectopascal 圧力の単位。一九七三年（昭和四八）に国際標準化機構（ISO）で圧力の単位としてパスカルが採択された。世界気象機関（WMO）ではこれを受けて七九年に、気圧の単位をミリバール（記号mb）からヘクトパスカル（記号hPa）に変更することを決めているが、その実施時期については未定である。ただし、同機関で出版する印刷物のなかでは八二年からミリバールとヘクトパスカルの両者を併用することとしている。「パスカルは一平方メートル当り一〇ダイン（dyn）の圧力である。ヘクト（hecto）は